

議会運営委員会 研修報告

平成28年2月2日～4日

市民を念頭に 議会改革

東京都町田市議会を訪れ、議会改革の取組み、開かれた議会づくりについて研修した。同市は、議会改革度調査ランキングで上位に位置しており、あらゆる方面で改革を実行している。特に、開かれた議会を意識し、傍聴しやすい仕組み、電子採決による賛否状況の公表、請願のしやすい、公聴会・懇談会など、常に市民を念頭に置いた改革を行っている。また、議会の使命を意識し、執行部に対して常に説明を求め、執行部もそれに応える姿勢には、地方自治のあり方を再認識させられた。

政策立案機能の 発揮を

翌日は、地方議会研究会主催の「議員が提案する政策条例のポイント」の講座を受講した。議会の役割には「政策の立案機能」があるが、市民意識が変化中、今後、この機能を発揮すること

が求められている。議会が役割を果たしていくためには、現状に満足することなく、常に問題意識を持ちながら、時代に遅れることのないようにステップアップする必要があると改めて感じた。



東京都町田市での研修

【人口】
町田市 426,616人

先進地と学ぶ

議会だより編集 特別委員会 研修報告

平成28年2月17日～18日

京都府精華町議会では、議会だよりの編集方法について研修した。「せいりか議会だより」は、平成26年度の町村議会広報コンクールにおいて企画・構成部門で入賞している。編集作業は広報常任委員会が主体となり、すべて議員で行っている。

読みやすい

議会だよりとは

具体的な編集の方法としては、住民が読みやすく、分かりやすい紙面づくりを念頭に、行政用語や議会用語をできるだけ分かりやすい表現にする、



質疑応答（京都府精華町）

【人口】
精華町 37,521人

文字で分かりにくいものは表にする。また見出しは、住民の関心を引きそ
うな表現にするなど、常
に住民の立場になって編
集をしている。さらに住
民参加の観点から、表紙
写真は町内の写真クラブ
に依頼し、撮影者の紹介
と一言を最終ページに掲
載している。「せいりか議
会だより」は、企画や構
成が大変工夫されており、
とても読みやすく、参考
になった。

「ちくご市議会だより」
も創刊から11年が経過し、
少しずつ変化し続けている
が課題は多い。議会だ
よりは、議会と住民をつ
なぐ一つの手法として重
要なものであるため、さ
らに改善が必要であると
感じた。